

今シーズン初！！

千葉県野鳥において、低病原性 鳥インフルエンザ（H7亜型）検出



千葉県で採取された野鳥の糞便中から、低病原性鳥インフルエンザウイルス（H7亜型）が分離されました。

また、韓国では10月以降、野鳥において5例の鳥インフルエンザウイルス分離事例（うち2例は高病原性）が確認されており、国内への侵入リスクが高まっていると考えられます。（裏面参照）

**飼養衛生管理基準を遵守し、
高病原性鳥インフルエンザなどの対策の再徹底をお願いします。**

- ★病原体の侵入防止のため、衣服や長靴の消毒、車両の消毒、防鳥ネットの破れがないかを再確認してください。
- ★鶏舎周囲、衛生管理区域周囲に石灰散布をするなど、適切な消毒を実施してください。

いつもと様子が違う時は、早期の通報をお願いします

1日の死亡率が前21日平均の2倍以上

家畜保健衛生所にご連絡ください

（その他、下記のような場合もご連絡ください）

- ・5羽以上の鶏がまとまってうずくまっている、死んでいる
- ・脚部の皮下出血、肉垂の出血・壊死、突然の沈うつといった症状が見られる

**引き続き、飼養衛生管理の徹底と早期摘発のための
監視の強化に万全を期していただくようお願いいたします。**

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ

土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています

韓国における野鳥からの鳥インフルエンザウイルスの分離事例（2018年10月以降）

	場所	由来	採材日	判定日	病原性	亜型
1	慶尚南道 昌寧郡	糞便	10.6	10.10	低	H5N2
2	京畿道 坡州市	糞便	10.11	10.17	低	H5N2
3	京畿道 坡州市	糞便	10.15			H5
4	全羅北道 群山市	糞便	10.8	10.18	低	H5N2
5	忠清北道 清州市	糞便	10.15			H5



2018年10月18日現在
農林水産省動物衛生課

（韓国農林畜産食品部プレスリリースをもとに作成）